



# ヤマザクラプロジェクト 第12回目の植樹祭を開催！



震災復興のシンボルとして2011本のヤマザクラを宮戸島に植えることを目的に2012年から始まった「ヤマザクラプロジェクト」。今年も4月19日(日)に第12回目の植樹祭を開催し、県内外から約40名の方々にご参加いただきました。



▲史跡公園でのお花見

前日に縄文村の敷地内で育てているヤマザクラの苗木を小さなポットから大きなポットへ植替える作業を行い、翌日に植えるヤマザクラを運び出しました。そして植樹祭当日の19日、良く育ったヤマザクラの苗木50本を「さとはま縄文の里史跡公園」内の段々畑に植樹しました(写真右)。

全ての作業が終了した後は、史跡公園内の高台でヤマザクラを見ながらのお花見(写真左)。今年はヤマザクラの開花が早く、少し散り始めではありましたが、ほぼ満開のヤマザクラに皆さんとても感慨深い様子でした。



▲植樹の様子。添え木をし、たい肥も混ぜ込みました。

## 「野蒜石」の歴史と文化に触れた春の散策



▲かつての石切り場で当時の製材工程を説明

4月14日(火)、「奥松島江ノ浜の自然を保全する会」第5回研修会が開催され、講師に木島新一さんを迎えて約20名の参加者が徒歩で散策しながら野蒜地域の石材の歴史や文化を学びました。

春の心地よい晴天の下、かつての石切り場を見学しながら、当時の製材工程や運河や仙石線を使った搬出でにぎわっていた様子を聞いた参加者の皆さんは、野蒜地域の豊かな自然と「野蒜石」の歴史に想いを馳せていました。



### 野蒜石ってなに??

野蒜石とは、野蒜地域で産出する凝灰岩の一種です。耐火性に優れ、加工しやすいことから、住宅や蔵などに広く用いられた石材です。昭和初期から50年代にかけて盛んに採掘されました。

最新の情報は  
こちらから



facebook



Instagram



HP